



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月8日 東

上場会社名 アマテイ株式会社 上場取引所
 コード番号 5952 URL <http://www.amatei.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 秋元 直行
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長 (氏名) 石野 栄一 (TEL) 06-6411-1238
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績 (平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	3,839	△3.8	127	128.6	114	158.3	94	△28.1
28年3月期第3四半期	3,990	3.6	55	—	44	294.2	131	137.3

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 100百万円(0.4%) 28年3月期第3四半期 100百万円(△9.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	7.86	—
28年3月期第3四半期	10.69	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	5,241	1,147	21.3
28年3月期	5,012	1,104	21.4

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 1,114百万円 28年3月期 1,071百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	—	—	1.00	1.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	2.50	2.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成29年3月期の連結業績予想 (平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	5,100	△2.2	158	88.1	140	102.9	115	△22.8

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期3Q	12,317,000株	28年3月期	12,317,000株
② 期末自己株式数	29年3月期3Q	548,953株	28年3月期	48,928株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期3Q	11,990,291株	28年3月期3Q	12,268,209株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
4. 補足情報	11
(1) 生産、受注及び販売の状況	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢に改善が見られる等、緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、英国のEU離脱や米国大統領選結果の影響に加え、中国をはじめ新興国の景気減速等により、景気の先行きは不透明な状況となっております。

このような事業環境のなか、当社グループの主たる事業である建設・梱包向事業のうち建設業界向は、当第3四半期連結累計期間における新設住宅着工戸数が75.1万戸(前年同四半期比6.6%増)と特に、住宅着工利用関係区分での持家・貸家が高い伸びを示しており、釘の需要環境は概ね良好に推移いたしました。一方、電気・輸送機器向事業は、弱電・OA機器向において需要家の中国での現地調達化により、国内需要は低調であり、価格競争が激しく需要環境は依然厳しい状況にあります。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、3,839百万円(前年同四半期3,990百万円、3.8%減)となりました。内訳は、建設・梱包向は50百万円減(1.6%減)、電気・輸送機器向は101百万円減(12.5%減)であります。営業利益は、売上高は減収であったものの、資材価格の安定と生産性の向上による製造原単価の低下や製造コストの低減効果等により127百万円(前年同四半期55百万円)となり、経常利益は、114百万円(前年同四半期44百万円)となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、特別損失として固定資産除却損4百万円を計上し、法人税、住民税及び事業税が16百万円であったこと等により、94百万円(前年同四半期131百万円)となりました。

当四半期連結累計期間におけるセグメントの業績を示すと、次の通りであります。

(建設・梱包向)

建設・梱包向セグメントは、新設住宅着工は木造の持家・賃貸の住宅を中心に伸びておりますが、当社においては、為替の影響もあり、輸入商品の一部品種において販売価格が下がり、価格競争が激しくなるなか、釘の販売は伸び悩みました。利益面では、資材価格の安定と生産性の向上による製造原単価の低下や製造コストの低減効果等により、改善をいたしました。この結果、当セグメント売上高は、前年同四半期比1.6%減の3,129百万円となり、セグメント利益は前年同四半期に比べ78百万円増加し、269百万円となりました。

(電気・輸送機器向)

電気・輸送機器向セグメントは、弱電・OA機器向け及びゲーム機器の中国での現地調達化が定着し、国内での需要は低調であります。需要の落ち込みに対して、4月より8月にかけて休業による生産調整を実施したため、労務費を含む製造コストが低減されたものの、需要減少の影響は大きく、当セグメントの売上高は、前年同四半期比12.5%減の710百万円となり、セグメント利益は前年同四半期に比べ2百万円減少し、0百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は5,241百万円(前連結会計年度末〔以下「前年度末」という〕比229百万円増)となりました。流動資産は、前年度末に比べ243百万円増加し、3,127百万円となりました。これは現金及び預金が125百万円、建設・梱包向の第3四半期での需要の増加により、受取手形及び売掛金が141百万円増加し、商品及び製品が50百万円減少したこと等によるものであります。固定資産は、前年度末に比べ13百万円減少し、2,114百万円となりました。これは有形・無形固定資産の新規設備投資額89百万円に対して、減価償却費が120百万円であり、投資有価証券が第3四半期連結会計期間末の株価の上昇により、11百万円増加したこと等によるものであります。

(負債)

負債合計は、前年度末に比べ187百万円増加し、4,094百万円となりました。流動負債は、前年度末に比べ0百万円増加し、2,670百万円となりました。固定負債は、前年度末に比べ186百万円増加し、1,424百万円となりました。これは長期借入金等が増加したことによるものであります。

有利子負債(短期借入金、長期借入金)は2,799百万円(前年度末比197百万円増)となりました。これは、短期借入金の純増が50百万円であり、長期借入金の返済が694百万円に対して、借入が841百万円であったこと等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、1,147百万円となり、前年度末に比べ42百万円増加しました。これは当第3四半期連結累計期間の親会社株主に帰属する四半期純利益が94百万円であるのに対して、配当金の支払いが12百万円あり、自己株式の取得を46百万円行ったこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は、前年度末の21.4%から21.3%となり、1株当たり純資産は87.32円から94.75円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年11月11日に発表しました平成29年3月期の連結業績予想は、本日平成29年2月8日に修正いたしました。これは平成28年11月11日に発表しました時点で見込んでいました第3四半期の利益見込みが、建設・梱包向において、増産に伴う生産性の向上による製造原単価の低下や製造コストの低減効果等により更に改善し、また第4四半期におきましても当初の予想を上回る見込みとなるものであります。また、平成29年3月期の期末配当につきましては、本日平成29年2月8日開催の取締役会において1株当たり1円から2円50銭に増配することを決議し、同日、「平成29年3月期(第76期)配当予想の修正に関するお知らせ」で予想を修正しております。なお、業績に影響を与える事象が発生いたしましたら、適宜お知らせいたします。

第4四半期連結会計期間以降のセグメント毎の業績見通しは、次の通りであります。

(建設・梱包向)

平成28年度の新設住宅着工戸数は、前年度の92.1万戸を上回る見通しであります。特に、当社の主たる住宅着工利用関係区分である持家、貸家の木造住宅着工には底堅いものがあります。当社の釘の需要は、第4四半期連結会計期間以降は、前年度並を見込んでおります。利益面では、資材価格は値上がりするものの、増産に伴う生産性の向上による製造原単価の低下や更なる製造コスト及び販管費の低減効果等により、一定の利益が確保できるものと考えております。しかしながら、為替の影響で輸入商品価格の値動きにより、更に販売価格競争が激しくなることが予想されます。今後とも物流コストをはじめとする経費削減に取り組み、販売価格の是正や輸入商品の仕入コストの低減に努め、当社の特許品である「木割れ最強釘」及び輸入商品等の拡販と新製品開発に取り組んでまいります。

(電気・輸送機器向)

電気・輸送機器向事業は、弱電・OA機器向け及びゲーム機器の中国での現地調達化が定着し、国内での需要は低調な状況が続きます。そのようななか、主に輸送機器向に導入した多段冷間圧造設備による高付加価値製品の量産体制への取り組みが急がれ、当該設備の本格稼働による生産性の向上と売上げの拡大を図ってまいります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	460,965	586,352
受取手形及び売掛金	1,276,579	1,417,822
商品及び製品	755,526	704,671
仕掛品	194,371	218,827
原材料及び貯蔵品	166,808	175,922
前払費用	13,943	12,269
繰延税金資産	13,818	14,010
その他	5,905	1,588
貸倒引当金	△3,125	△3,645
流動資産合計	2,884,793	3,127,818
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	517,630	497,267
機械装置及び運搬具（純額）	596,283	586,873
土地	733,542	733,542
その他（純額）	61,419	46,585
有形固定資産合計	1,908,876	1,864,269
無形固定資産		
ソフトウェア	22,827	32,361
その他	3,383	845
無形固定資産合計	26,211	33,207
投資その他の資産		
投資有価証券	119,218	130,566
長期前払費用	120	5,213
その他	95,789	92,920
貸倒引当金	△22,903	△12,106
投資その他の資産合計	192,225	216,595
固定資産合計	2,127,312	2,114,072
資産合計	5,012,105	5,241,891

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	813,331	810,964
短期借入金	1,582,442	1,602,180
未払法人税等	17,479	13,195
未払消費税等	28,428	35,233
未払費用	49,657	45,369
賞与引当金	49,113	28,306
その他	129,040	135,023
流動負債合計	2,669,491	2,670,272
固定負債		
長期借入金	1,019,671	1,197,144
繰延税金負債	8,019	12,053
役員退職慰労引当金	23,528	32,790
退職給付に係る負債	183,632	179,142
資産除去債務	3,461	3,475
固定負債合計	1,238,312	1,424,605
負債合計	3,907,803	4,094,877
純資産の部		
株主資本		
資本金	615,216	615,216
資本剰余金	40,181	40,181
利益剰余金	404,551	486,567
自己株式	△3,058	△49,060
株主資本合計	1,056,891	1,092,904
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,350	22,082
その他の包括利益累計額合計	14,350	22,082
非支配株主持分	33,060	32,026
純資産合計	1,104,301	1,147,013
負債純資産合計	5,012,105	5,241,891

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	3,990,767	3,839,162
売上原価	3,304,202	3,084,540
売上総利益	686,565	754,621
販売費及び一般管理費	631,012	627,617
営業利益	55,553	127,004
営業外収益		
受取利息	46	26
受取配当金	3,229	1,413
受取賃貸料	1,345	450
助成金収入	622	—
保険解約返戻金	4,424	2,556
その他	6,783	7,238
営業外収益合計	16,452	11,684
営業外費用		
支払利息	21,499	18,179
その他	6,138	5,927
営業外費用合計	27,638	24,107
経常利益	44,367	114,581
特別利益		
固定資産売却益	101,381	48
特別利益合計	101,381	48
特別損失		
固定資産除却損	4,932	4,913
その他	—	0
特別損失合計	4,932	4,913
税金等調整前四半期純利益	140,816	109,716
法人税、住民税及び事業税	9,529	16,329
法人税等調整額	708	137
法人税等合計	10,237	16,466
四半期純利益	130,578	93,250
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△518	△1,033
親会社株主に帰属する四半期純利益	131,097	94,283

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	130,578	93,250
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△29,988	7,732
その他の包括利益合計	△29,988	7,732
四半期包括利益	100,589	100,982
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	101,108	102,015
非支配株主に係る四半期包括利益	△518	△1,033

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成28年8月2日開催の取締役会の決議に基づき、自己株式500,000株の取得を行っております。この結果、当第2四半期連結累計期間において自己株式が46,002千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が49,060千円となっております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	合計
	建設・梱包向	電気・ 輸送機器向	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,179,295	811,472	3,990,767	—	3,990,767
セグメント間の内部売上高 又は振替高	19	2,056	2,075	△2,075	—
計	3,179,314	813,528	3,992,842	△2,075	3,990,767
セグメント利益	191,468	3,271	194,739	△139,186	55,553

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	194,739
セグメント間取引消去	△88
全社費用(注)	△139,098
四半期連結損益計算書の営業利益	55,553

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	合計
	建設・梱包向	電気・ 輸送機器向	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,129,061	710,101	3,839,162	—	3,839,162
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,006	7,815	8,822	△8,822	—
計	3,130,068	717,917	3,847,985	△8,822	3,839,162
セグメント利益	269,982	681	270,664	△143,660	127,004

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	270,664
セグメント間取引消去	△249
全社費用(注)	△143,410
四半期連結損益計算書の営業利益	127,004

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

4. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

① 生産実績及び仕入実績

当第3四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次の通りであります。

セグメントの名称	生産高(千円)	前年同期比(%)
建設・梱包向	2,467,364	△6.1
電気・輸送機器向	569,575	△22.3
合計	3,036,939	△9.6

(注) 1 金額は、生産高は製造原価、仕入実績は仕入価格によっており、セグメント間の取引については相殺消去しています。

2 上記の金額には、消費税等は含まれていません。

② 受注実績

当第3四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次の通りであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期比(%)
建設・梱包向	3,180,476	△1.5	371,879	+0.6
電気・輸送機器向	717,136	△9.7	114,816	+52.8
合計	3,897,613	△3.1	486,696	+9.4

(注) 1 金額は、販売価格によっており、セグメント間の取引については相殺消去しています。

2 上記の金額には、消費税等は含まれていません。

③ 販売実績

当第3四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次の通りであります。

事業の種類別セグメント	販売高(千円)	前年同期比(%)
建設・梱包向	3,129,061	△1.6
電気・輸送機器向	710,101	△12.5
合計	3,839,162	△3.8

(注) 1 金額は、販売価格によっており、セグメント間の取引については相殺消去しています。

2 当第3四半期連結累計期間における主な相手先別の販売実績および当該販売実績に対する割合は次の通りであります。

相手先	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	
	金額(千円)	割合(%)	金額(千円)	割合(%)
大東スチール株式会社	852,443	21.3	901,353	23.5

3 上記の金額には、消費税等は含まれていません。